

# 歴史を歩く

# 60

（未知なる歴史が探究心をかき立てる地域（永吉地区））②

おおさきの歴史を旅してみませんか②⑥

## 4 永吉天神段遺跡

東九州自動車道の建設に伴い、発掘調査が行われている。

標高約 50m のシラス台地上にあり、これまでに縄文時代早期（約 7,300 年前）の巨大地震に伴う墳砂跡、縄文時代前期（約 5,000 年前）の土器・石器、弥生時代（約 2,100 年前）の集落跡・墓群、平安時代の集落跡や鎌倉時代（約 800 年前）の墓などが発見されている。



## 6 上谷迫の古石塔

（おうえい）  
 応永初期（14 世紀後半）～戦国時代初期（15 世紀末）の宝塔が 7 基あり、肝付家関連のものと考えられる。五輪塔 2 基も確認されている。

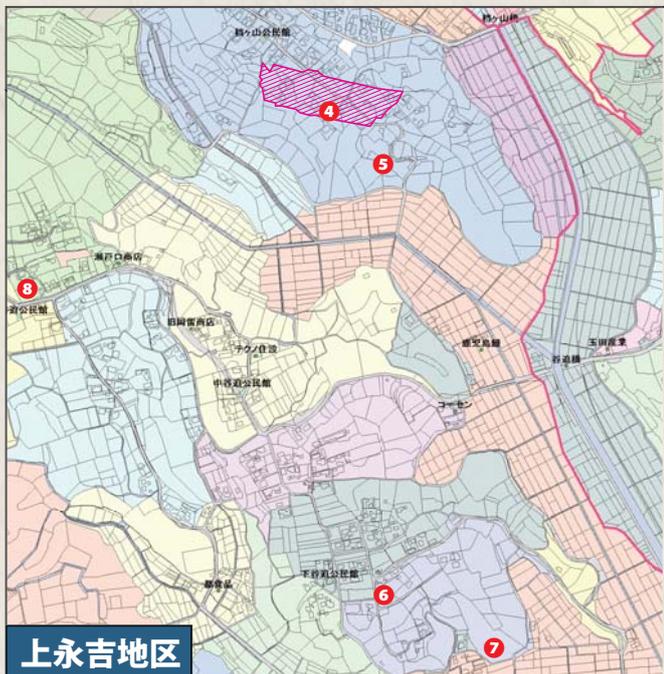


## 5 档ヶ山の古石塔

詳細は不明。  
 宝塔 3 基、五輪塔 3 基が確認されている。

## 7 谷迫の砲台跡

太平洋戦争の末期、志布志湾岸一帯には本土決戦に備えた陣地が構築され、谷迫にも大砲が据えた砲台が造られていた。終戦後に進駐軍が砲台の中に弾薬類を集め爆破させた。



上永吉地区

## 8 谷迫の六面地藏

建立の時期は不明。  
 六道（地獄道、餓鬼道、畜生道、修羅道、人道、天道）のそれぞれの衆生を救済する六面の地藏（しじょう）がはっきりと確認できる。

